

目的 石けんで洗髪した場合の、石けんの毛髪に及ぼす影響の検討を行なう。

方法 石けん洗髪後、毛髪に付着した石けん分の定量を行ない、付着石けん量の異なる毛髪を用いて、石けん洗髪による毛髪の伸度、強度、静摩擦係数、日光(フェードメータ)照射の影響、および毛髪の艶等の官能に及ぼす影響の検討を行なった。

また、顕微鏡による毛髪表面の観察も併せて行なった。

結果 通常の水道水を用いても、石けん洗髪のくり返し回数が増える程、毛髪に付着する金属石けん量が多くなり、伸度が低下する。また、毛髪の艶、手触り、櫛の通りが劣化する。

一方、シャンプーを用いて洗髪した場合には、未処理(ブランク)の場合と同程度で、石けん洗髪よりも良好である。

従って、洗髪には、シャンプーを使用するのが望ましい。